平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	歩道等整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	若泉哲也			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	第2次歩道等整備5箇年計画の計画実行と来年度の計画策定準備。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	第2次歩道等整備5箇年計画の最終計画年となるため、これまでの検証と新計画策定。
②①に基づく取組み結果	平成27年度に向けた計画策定準備を行った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	歩行者と車両の動線が輻輳している箇所	意図（対象をどうするのか）	交通事故の減少
②事務事業の概要	歩道等整備5箇年計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯・ガードレール・道路反射鏡・道路標識等の交通安全施設の整備を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	市民意識調査にて、交通安全対策への不満足度は40%、重要度は82.8%と市民の関心は高い状態にあるが、市内の人身事故は減少傾向にある。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	区画線設置6285m、カラー舗装154.7㎡、道路反射鏡設置26基、道路照明灯設置2基

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	交通事故発生件数	535	487	440	件	業務取得
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	5.9	5.3	4.6	人	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	19,943	20,544	金額（千円）	内容	15,000
国支出金（千円）	3,300		291	委託料	0
県支出金（千円）	0		20,253	工事請負費	0
市債その他（千円）	0				0
一般財源（千円）	16,643	20,544			15,000

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	歩道設置には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	道路の機能管理面から安全確保をする責務があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
		計画事業費	予算額			決算額		
①平成26年度の計画	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備	20,572	20,572	当初	20,572	20,544	H25からの繰越	0
②計画に対する事業実績	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備			H25⇒26繰越			現年分	20,544
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成27年度への繰越額（単位；千円）				0		

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	交通安全施設更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	若泉哲也			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	道路付属施設のうち、大型案内標識の点検調査を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	道路付属施設の点検方法について検討を行う。
②①に基づく取組み結果	全ての大型案内標識（8基）の点検調査を行い、良好な状態を確認した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	道路照明灯・道路反射鏡等の安全施設	意図（対象をどうするのか）	更新を行い、全ての人が安心して、道路を通行できるようにする。
②事務事業の概要	経年劣化により老朽化した各種安全施設（道路照明灯・道路反射鏡等）の更新を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果

○道路照明灯更新　16基　　○道路反射鏡更新　0基
○大型標識点検調査　8基

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	交通事故発生件数	535	487	440	件	業務取得
ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	5.9	5.3	4.6	人	業務取得
iii						

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成27年度予算
事業費（千円）	10,804	5,910			5,000
国支出金（千円）			227	委託料	
県支出金（千円）			5,683	工事請負費	
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	10,804	5,910			5,000

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	道路照明灯調査・工事
②計画に対する事業実績	道路照明灯調査・工事
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）

計画事業費	予算額			決算額		
7,175	5,910	当初	7,175	5,910	H25からの繰越	0
		H25⇒26繰越	0			
		補正	0		現年分	5,910
		流用・充当	−1,265			
平成27年度への繰越額（単位；千円）			0			